

第 4 期

三津浜地区地域福祉活動計画

ふれ合いで、

笑顔あふれる、

三津の街

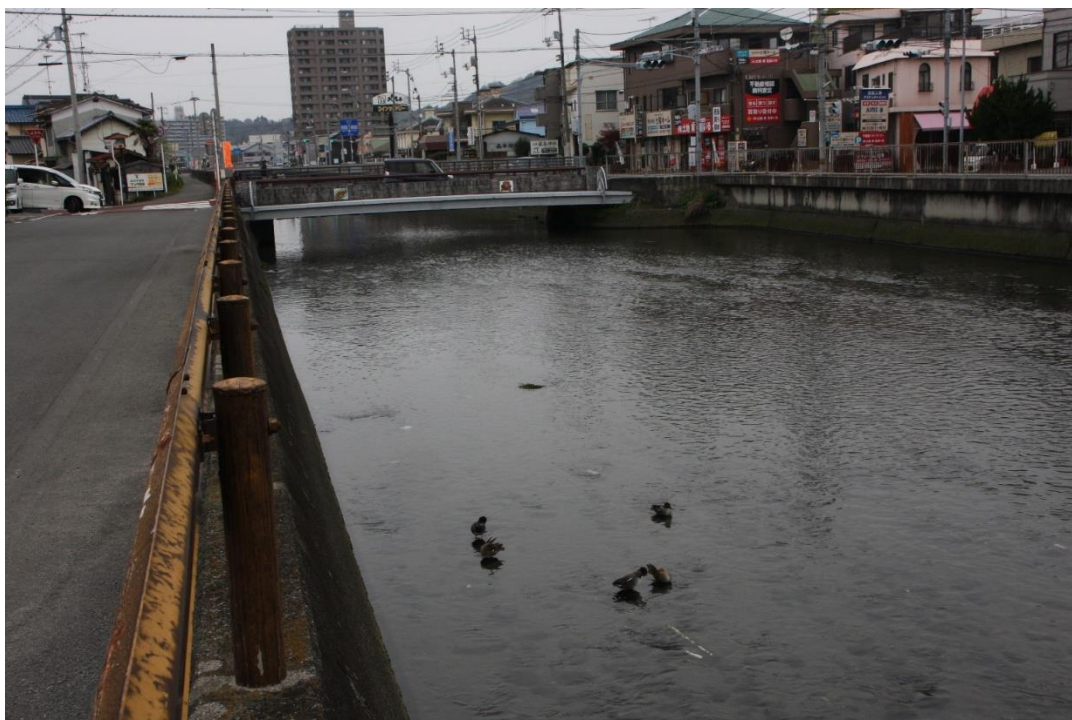


港山側から見た三津の街(中央部・・・内港。右側・・・三津浜港)(ドローンにて撮影)

三津浜地区社会福祉協議会
(三津浜地区地域福祉活動計画策定委員会)



赤灯台
向こうに梅津寺の山が見える。(写真―①)



宮前川で水鳥が遊んでいる。
下水道が普及したせいか、昨今水質が格段と良くなった。(写真―②)

第4期三津浜地区地域福祉活動計画策定にあたって

三津浜地区は高齢化率が38.6%(市全体29.4%)、14歳以下の人口が8.7%(市全体11.8%)(令和6年12月1日現在)と他地区に比べ少子高齢化が進んでおり、今後も急速に進むと予想されています。これ等に伴い過疎化や核家族化の進展、高齢世帯の増加に伴う老々介護や独居者の増加、更にはコミュニケーションの希薄化に伴う孤立化、生活基盤の郊外化(ドーナツ化現象)に伴う利便性の低下等種々の課題が生じており、これらに対応した地域福祉の向上のための施策も多種・多様化している状況です。

このような地域の状況に鑑み、第3期に続き地域福祉向上に向けた第4期(令和7年度から5ヵ年)の活動計画を策定することとしました。

まず、地区社協の加入団体の代表等で構成する策定委員会を立上げ、令和5年度にまとめた

三津浜地域の「地域カルテ」に提起された

この地域の ○各種資源 ○強みと弱み ○福祉課題
に基づき、地域の状況を配慮しつつ

- (1)地区社協の基盤整備
- (2)地域学習 & ボランティア促進
- (3)在宅福祉／生きがい／介護予防／サービスの向上
- (4)関係団体との協働(連携)
- (5)その他

の5項目を基本計画とし、

地域福祉の内容・目標の多様化を踏まえ、各種団体と連携・協働のもと

- 1)ふれあいの場を創設し、
- 2)コミュニケーションの強化を図り、
- 3)全世代型体制で福祉の向上を目指すこと

を念頭に活動計画を策定しました。

この活動計画を推し進めることにより、

赤ん坊から高齢者までがふれ合い
現役世代を含む全世代が連携して助け合う事により
地域福祉の更なる向上が可能になると期待しているところであります。

これら計画の着実に実行するために、年度毎に計画の進捗状況を確認する事としていますが、最も必要なことは、関係各位のご理解、ご指導の下遂行することであると考えていますので、関係各位の尚一層のご協力をお願い申し上げます。

おわりに、この計画策定にあたり、ご尽力頂いた松山市社会福祉協議会と一年間に渡り熱心に議論して頂いた策定委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和7年3月

三津浜地区社会福祉協議会 会長 市川 淳二

1. 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較……………p1
2. 三津浜地区の概要……………p2
3. 三津浜地区社会福祉協議会の取組……………p3
4. 組織図……………p4
5. 第4期三津浜地区地域福祉活動計画……………p5

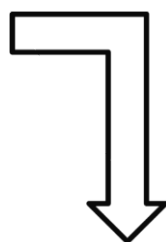
《基本理念／基本計画(1)～(5)》

6. 第3期三津浜地区地域福祉計画策定委員会開催状況……………p9
7. 地域のインフラ等紹介《三津浜地区全域総括表》……………p11

《三津浜地区町別個別表》……………p12

8. 三津浜地区の人口分布等の特徴を統計からみると……………p24
9. (参考)写真撮影位置図……………p27

石崎・兼清記念館(ふれあいサロン三津浜)《正面入り口》(写真—③)



石崎・兼清記念館の看板拡大

■石崎・兼清記念館の由来■
(看板記載内容)

この建物は石崎汽船会長石崎仙太郎氏の提唱により三津浜地区社会福祉協議会に福祉基金として寄託された資金をもとに建設されました。

その運営は三津住吉町に在住した兼清由起子氏の地域福祉向上を願う遺言による基金で行われており地域の交流の場として活用されています。

三津浜地区社会福祉協議会

■石崎・兼清 記念館■ 2012年建設

この建物は石崎汽船(1862年文久2年創業)

会長石崎仙太郎氏の提唱により三津浜地区社会福祉協議会に福祉基金として寄託された資金をもとに建設されました。

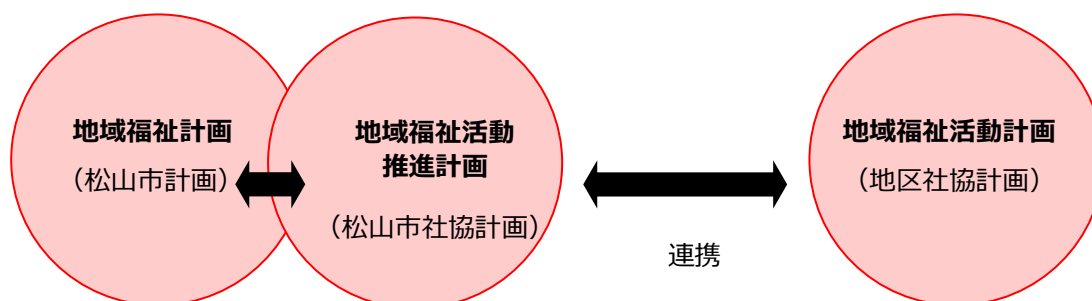
その運営は三津住吉町に在住した兼清由紀子氏(1923~2004年)の地域福祉向上を願う遺言による基金で行われており地域の交流の場として活用されています。

三津浜地区社会福祉協議会

1 松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の3計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【 イメージ図 】



【 地域福祉に関する計画の比較 】

計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市社協	三津浜地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	「みんなが参加し つながり支えあう 共生のまちづくり」	『ふれ合いで、笑顔あふれる、 三津の街』
計画の特徴	①支え合いの心を育む ②みんなが主役になれる環境づくり ③丸ごと支援のしくみづくり ④福祉サービスの向上と適切な利用の促進 の4項目を柱とし、地域の団体や個人が主体となりそれぞれの役割を担いながら、みんなが参加して活躍できる共生社会の実現を目指す。	①地区社協の基盤整備 ②福祉学習とボランティア (団体)の育成 ③在宅福祉・生きがい 介護予防サービス ④関係団体との協働(連携) ⑤その他 の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。 地区社協が中核となって、住民の主体的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、他団体との連携強化と地区社協の基盤強化を図る。

2 三津浜地区の概要

令和6年12月1日現在 面積 0.96km²
 人口4,491人(高齢化率38.6%)
 世帯数 2,497世帯

【地区の特色】

三津浜地区は、松山市の西部に位置し、南には松山空港、北端には松山市の海の玄関にあたる松山観光港を控えており、その中間部に位置する。また、朝市や海運と商業の町として栄え、地理的には海岸沿いで広い土地がないため昔から居住している人が多い。風物として、三津と港山を結ぶ「渡し船」があるなど古い情緒が残っており、最近では夏の花火大会として有名な地域である。

【地域住民からみた地域の状況】(地域カルテより)

地区の強み	・街並みが古く、昔の雰囲気情緒が色々残っている地域である。 ・社会資源が豊富で、陸海空の交通アクセスが良く生活に便利。しかも、自然災害が少なく、安心して暮らせる地域である。 ・このような地域環境を背景に、近年三津浜地区への移住者が僅かではあるが増加傾向にあり、若者の挑戦・活躍に期待がかかる。 ・各種団体の役員がリーダーとなって地区の活性化に努めている。 ・渡し船、三津浜焼き等をアピールして地区の盛り上がり・活性化が期待できる。
地区の弱み	・地域のリーダー(役員・スタッフ等)として活動している人は高齢者が多く、一人が多くの役を引き受けている。又、リーダーの交代が進んでおらず、若い人が力を発揮出来る環境整備が必要な状況にある。 ・住民どうしの交流の場が少なく、世代交流の機会も少ない。 ・空家・空き店舗が増加している。近頃は安全管理上、老朽家屋の解体更地化が散見される。 ・狭い道路が多く危険で、一時停車も禁止区域が多く、外来者用駐車場の確保が難しく、車社会に合っていない。 ・戦災に合っていない為、区画や道路整備が出来ていないが、人口密集地であり整備が困難。 ・少子高齢化がより進んでいる。この為、町内会数 38 に対し、子ども会が 16 団体まで減少している(町内会数の約 40%迄減少)。町内会の下部組織として一体運営が出来ない状況にある。 ・三津浜地区にあった古来伝統文化が伝承されず、一部途絶え消滅状態にある。
福祉課題 地域が抱える	・高齢者のゴミ出し、買い物、通院支援が必要。又、これらを行う手段の確保が必要。 ・ヤングケアラー、引きこもり家族のいる家庭、一人親家族、老々介護世帯等に対する福祉サービス事業の多様化が進み、情報収集と対策支援が必要である。 ・高齢者と若い世代の交流が少ない。 ・自主防災組織の再建(今在る既存組織が十分に機能しておらず再構築が望まれる)。 ・団体の活動が縦割れしており連携が不十分、各種団体が一同に会し話し合いの場等が必要。 ・個人情報保護法が壁になり、きめ細やかな福祉活動がその先へ進めない事が多々ある。

地区団体の状況

■地区民協民生・主任児童委員	20名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ	38団体 2クラブ
■ふれあい・いきいきサロン	2団体	■子ども会	19団体
■まち協の設立	平成22年度	■自主防災組織	29組織

3. 三津浜地区社会福祉協議会の概要

＜拠点＞ 松山市住吉 2 丁目 5 番 25 号

石崎・兼清館（ふれあいサロン三津浜内）

構成団体	地区民児協・公民館・子ども会連絡協議会・高齢クラブ連合会・広報部会(町内会長)自主防災連合会・松山西交通安全協会三津浜支部・母子会・保護司会第 9 分区中小学校 PTA・婦人会・西地区少年警察ボランティア協会・まちづくり協議会・ふれあい・いきいきサロン
------	--

サービス事業の例

伊予鉄三津駅前花壇整備

地域福祉サービス事業の一環として、年間を通じ毎週月曜日と木曜日、三津浜地区の協力会員が駅前一带の環境美化のために、水やりと花壇の清掃に取り組んでいます。



＜地区社協が目指すもの＞

三津浜地区もご多分にもれず少子高齢化が進み、現在、高齢化率は約 38%と松山市街地では高い比率となっており、今後も急速に上昇すると見込まれています。このような状況下において地域の各種団体が連携して誰もが参加できるコミュニケーションの機会やふれあいの場をつくり、老いも若きも笑顔でふれあう機会を増やすことが、現役世代を巻き込み、高齢者の健康寿命を延ばし、若年層の情操教育にも有効であると考えています。地域の更なる向上に向け子どもから高齢者までの全世代を対象とした施策を積極的に講じて行くこととしています。 とは言え、人口減少は急速に進展しており、歯止めがかからない限界的状态と思われ、官民一体となった「資金援助」による出生率向上や移住者支援等の抜本的対策が望まれる。

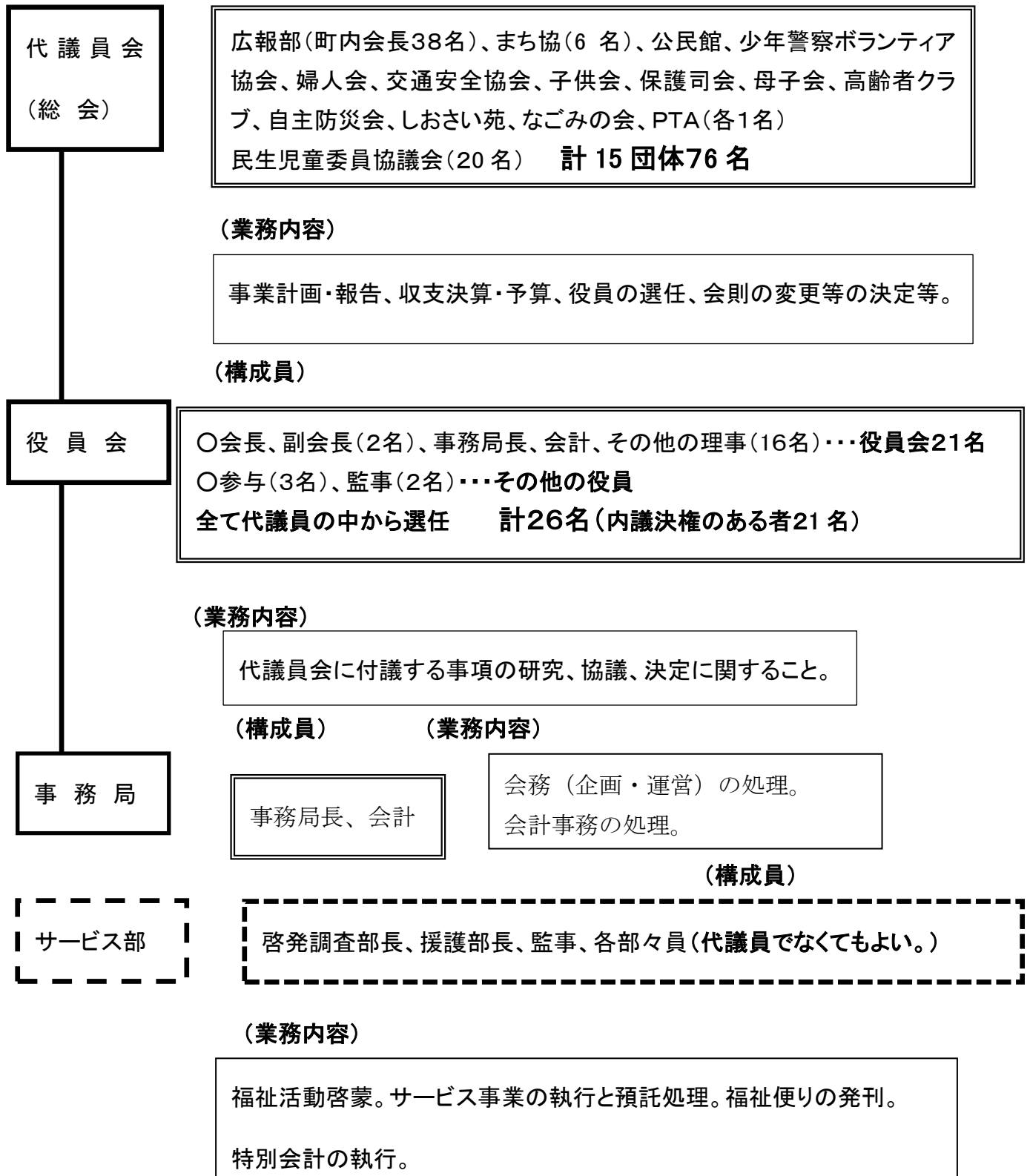


松山港三津浜旅客待合所(写真—④)

現在は柳井航路、中島航路の発着場となっている。

4. 三津浜地区社会福祉協議会組織図（令和6年7月1日現在）

（代議員…各団体の代表者）



地域が一体とな

って福祉向上に取り組むため、地域住民全てが会員となるよう代議員制とし、情報収集能力の向上と相互連携強化を目的に令和2年5月に会則を変更した。

5. 第4期三津浜地区地域福祉活動計画

＊ ＊ 基本理念 ＊ ＊ 『ふれ合いで、笑顔あふれる、三津の街』

＊ ＊ 基本計画 ＊ ＊

(1)地区社協の基盤整備「①～⑦」

実施計画		年 度					具体的施策、推進方法
		7年	8年	9年	10年	11年	
①	社会情勢に応じた持続可能な体制の整備	継続 充実	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	社会情勢の変遷に対応できるよう、組織の若年化を図り、全世代型のより機動的な組織体制を構築する。 又、固定・既定観念に囚われず、社会情勢に応じ、臨機に会則等を整備し、活動しやすい体制・制度を確保する。
②	地域住民の福祉ニーズを把握し、施策に反映する体制の整備と実行	検討 実行	⇒	⇒	⇒	⇒	情報収集能力のスキルアップ図ると共に、地域福祉の新しい課題にも対処する施策立案のための情報や住民のニーズを的確に把握する方法を検討し、併せて体制を確立・実行する。
③	各種基金の有効活用	継続	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	適正管理と有効利用の推進と併せ、社会状況の変動に適した福祉活動への利活用についても検討する。
④	役員会・代議員会の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	機会を逃さずタイムリーに開催し、会員間の意思疎通、透明性確保、意見収集を行う。
⑤	地域福祉意識の啓蒙	継続	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	地域住民に対し福祉に関する啓蒙と情報の発信のため福祉だよりの発刊を行うと共に、会員や協力会員のモチベーション向上のため研修等を積極的に実施する。 福祉だより・・・毎年3月末発行。
⑥	活動資金の確保	継続	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	原資確保に向け他団体と連携して赤い羽根共同募金活動を積極的に行う。又、社会環境の変動を考慮した会費の妥当性を検討する。
⑦	ふれあいサロン三津浜の適正運営と利用促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	利用ルールの確立と周知徹底。利用率の促進を図る。又、適数の社員を確保し、法人基盤の強化確保を図る。

(2) 地域学習とボランティア「①～⑥」

実施計画		年 度					具体的施策、推進方法
		7年	8年	9年	10年	11年	
①	地域の各種行事等への参加	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	学校行事や地域行事等に積極的に参加し、地域情勢を把握すると共に、地域コミュニケーション醸成による人間関係の疎遠化解消に寄与する。
②	地域伝統行事等の復活と伝承	継続	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	地域に残る伝統行事の継承に努め、地域コミュニケーションの醸成と住民意思に基づく伝統文化の伝承を図り、地域福祉の向上に寄与する。
③	各種研修会への参加	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	福祉に関する研修会等に積極的に参加し、地区関係者の福祉活動に対する啓蒙・能力アップを図る。
④	地域福祉学習事業の充実	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地域の基金や助成事業を有効に活用し、若年層のボランティア活動・福祉活動に対する能力アップを図る。
⑤	基金有効活用による未就学児・児童、生徒の健全育成	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	基金を有効活用して、地区子ども会や保育園等を通じ、未就学児等若年層の育成に側面支援を行う。
⑥	ボランティア育成事業推進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区ボランティア団体への支援や協力を推進する。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス「①～⑦」

実施計画		年 度					具体的施策、推進方法
		7年	8年	9年	10年	11年	
①	民生児童委員会活動への支援	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	誰一人取り残さない地域づくりを目指し、見まもり員の待遇改善を図る。
②	デイサービス、ヘルパー事業者との連携、協働	継続	⇒	⇒	評価 ⇒	⇒	地域包括支援センター、広報部会（町内会）等他団体との連携を強化し、高齢者見まもり支援のための情報交換体制確立と、支援を協働する。
③	ふれあい・いきいきサロン事業の拡充	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢化が一段と進む中、人員確保等更なる充実を目指す。又、簡易サロンをよりPRしてきめ細かい連携を推進する。
④	独居高齢者訪問・激励	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	民生委員と見まもり員の連携を密にし、充実した見まもり活動を行う。
⑤	敬老会の開催	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	対象年齢者の動向に注視すると共に、社会情勢に応じた内容で継続して実施する。
⑥	社会福祉施設訪問・激励	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	三津、宮前、高浜合同による訪問事業を実施する。
⑦	地域福祉サービス事業の推進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	他団体や協力会員との連携を密にすると共に、協力会員を確保し、更なる活動の充実を目指す。

(4)関係団体との協働(連携)「①～⑤」

実施計画		年 度					具体的施策、推進方法
		7年	8年	9年	10年	11年	
①	地区社協構成団体間の連携・協働促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	横の連携を強化し、各種団体の活動と積極的に協働し、地域一体となって福祉の向上を図る。
②	周辺他社協との情報交換の促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	三津浜地区福祉向上のため周辺地域社協の情報を収集し、良い施策を積極的に取り入れ、福祉向上のためのより充実した体制を確立する。
③	民協との連携・協働促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区福祉の質の向上を図るため、より一層連携・協働して活動する。
④	自主防災組織との連携・協働促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地域住民の人心を安定させ、安全・安心・幸せをより実感できるよう、一層の連携・協働を目指す。
⑤	地域包括支援センターとの連携・協働促進	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	地区福祉の質の向上を図るため、高齢者の情報豊富な支援センターとの連携をより一層強化し、高齢者福祉の向上に協働して活動する。

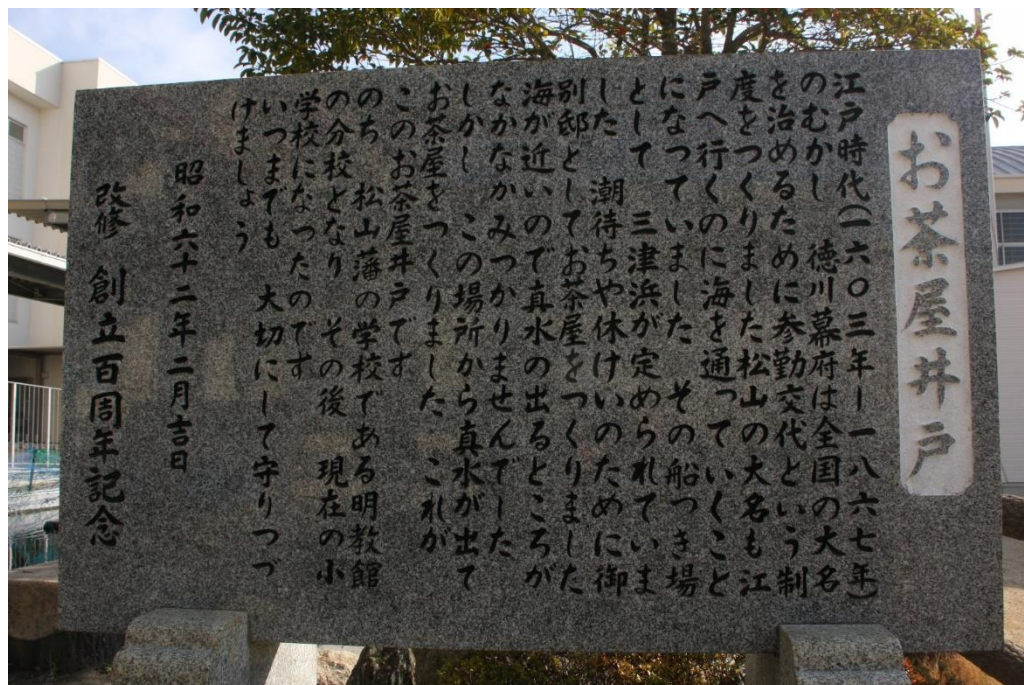
(5)その他「①～②」

実施計画		年 度					具体的施策、推進方法
		7年	8年	9年	10年	11年	
①	防災意識の啓蒙	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	自然災害を中心に知識習得に努め、まちづくり協議会、自主防災連合会等他機関と連携し、防災意識の高揚を図る。
②	災害発生時の対応策と体制の確立	継続	⇒	⇒	⇒	⇒	まちづくり協議会、自主防災連合会等他機関と連携し、三津に特化した災害に備える活動と体制の確立を図る。



三津の渡し(写真—⑤)

昔は大きな長い「櫓」で漕いでいた。乗客が漕ぐことがあった。
今はエンジン船。渡し船の航路は、海上ルート of 松山市道で無料。



お茶屋井戸（写真—⑥）

三津浜小学校構内にある。

江戸時代お茶屋の北側に船奉行所があった。

6. 第4期三津浜地区地域福祉活動策定委員会開催状況

(1) 策定委員

三津浜地区社会福祉協議会活動計画策定委員名簿 [㊞]				
		委 員 名	地区社協役職	摘 要
1	委員長	市川 淳二	会 長	まち協広報部会
2	副委員長	瀬村 要二郎	副会長	まち協広報部会
3	副委員長	門田 眞知江	副会長	公民館
4	事務局	今廣 勝彦	事務局長	まち協広報部会
5	会 計	喜田 功	会 計	まち協広報部会
6	委 員	重藤 勅史	理 事	まち協広報部会
7	委 員	大野 峰治	理 事	まち協広報部会
8	委 員	石崎 智行	監 事	まちづくり協議会
9	委 員	宮内 淑	理 事	まちづくり協議会
10	委 員	村上 廣敏	理 事	少年ボランティア協会
11	委 員	濱本 友子	理 事	婦人会
12	委 員	山内 隆生	理 事	交通安全協会
13	委 員	山本 正司	理 事	子ども会育成協議会
14	委 員	市川 孝司	理 事	保護司会
15	委 員	風戸 利子	理 事	母子会
16	委 員	川本 武	理 事	高齢クラブ
17	委 員	加嶋 さち子	理 事	しおさい苑
18	委 員	山下 曙美	理 事	なごみの会
19	委 員	栗田 美智子	監 事	民生児童委員
20	委 員	河野 美千代	理 事	民生児童委員
21	委 員	竹本 孝造	理 事	民生児童委員
22	委 員	畑中 清信	理 事	民生児童委員
23	委 員	重藤 大地	理 事	P T A
24	委 員	今廣 照美	援護部長	援護部長
			執行部	

(2) 策定委員会の開催

期間; 令和6年7月30日から令和7年2月19日の間で4回開催

内容; 下表の通り

回数	開催日	場所	参加者数	内容
第1回	令和6年7月30日	地域交流センター	16名	初回キックオフミーティングで完成までの全体計画説明
第2回	令和6年8月22日	同 上	17名	第4期福祉活動計画全体構成協議 外市社協参加
第3回	令和6年11月20日	同 上	17名	第4期福祉活動計画原案の調整 外市社協参加
第4回	令和7年2月19日	同 上	17名	第4期福祉活動計画最終案の確認 外市社協参加

※第1回策定委員会の様子



※第3回策定委員会の様子



7, 地域のインフラ等概要紹介

令和6年12月1日

●面積 0.9571 km²

●世帯数 2,497 世帯

●人口 4,491 人

●高齢化率 38.6 パーセント

三津浜地区は松山市の西部にあたり、昔から海運と商業で栄えた町で、昔ながらの住宅形成のため、土地面積の割に人口の多い地域である。しかし、近年は少子・高齢化が進み、後継者不足や子どもの減少など深刻な問題に直面しているが、地区全体が一丸となって様々な活動を展開している。

地区まちづくり協議会会長・役員・町内会長
地区社会福祉協議会会長・役員・代議委員
ふれあいサロン三津浜代表理事
地区民生児童委員協議会会長・役員・民生委員
三津浜公民館長・運営審議委員・事業推進委員
地区子ども会育成者連絡協議会会長・役員
地区高齢クラブ連合会会長・役員
地区自主防災連合会会長・役員、防災士
松山西交通安全協会三津浜支部長・役員
地区保護司会第9分区分区運営役員
小・中学校校長・教職員・PTA会長・役員
地区婦人会会長・役員、母子会会長・役員
地区児童クラブ運営委員会役員
防犯協会三津浜支部役員 共同募金会会長・役員
校区青少年育成支援協議会役員
少年警察ボランティア協会役員
教育会三津浜支部長
松山市三津浜支所長
松山西警察署長
松山西消防署長

地区まちづくり協議会
地区社会福祉協議会 ふれあいサロン三津浜
地区民生児童委員協議会
三津浜公民館、地区子ども会育成者連絡協議会
地区高齢クラブ連合会、地区自主防災連合会
松山西交通安全協会三津浜支部
地区保護司会第9分区分、小・中学校・PTA
地区婦人会、地区母子会、地区児童クラブ
防犯協会三津浜支部、校区青少年育成支援委員会
地区少年警察ボランティア協会、ふれあい・いきいきサロ
ン、地区体育協会、消防団三津浜分団、教育会三津浜
支部、松山市食生活改善推進協議会、県漁連連合会、
松山市漁協、三津浜漁協、松山市地域保健推進協力
会、赤十字奉仕団三津浜分団
三津浜おやじの会、平成船手組、三津浜クリエイター
ズ、三津浜柔道会、松山西部地域開発協議会、
松山港まつり振興会、ミツハマル

旧町名町内会(38町内会)
新町名「12町」



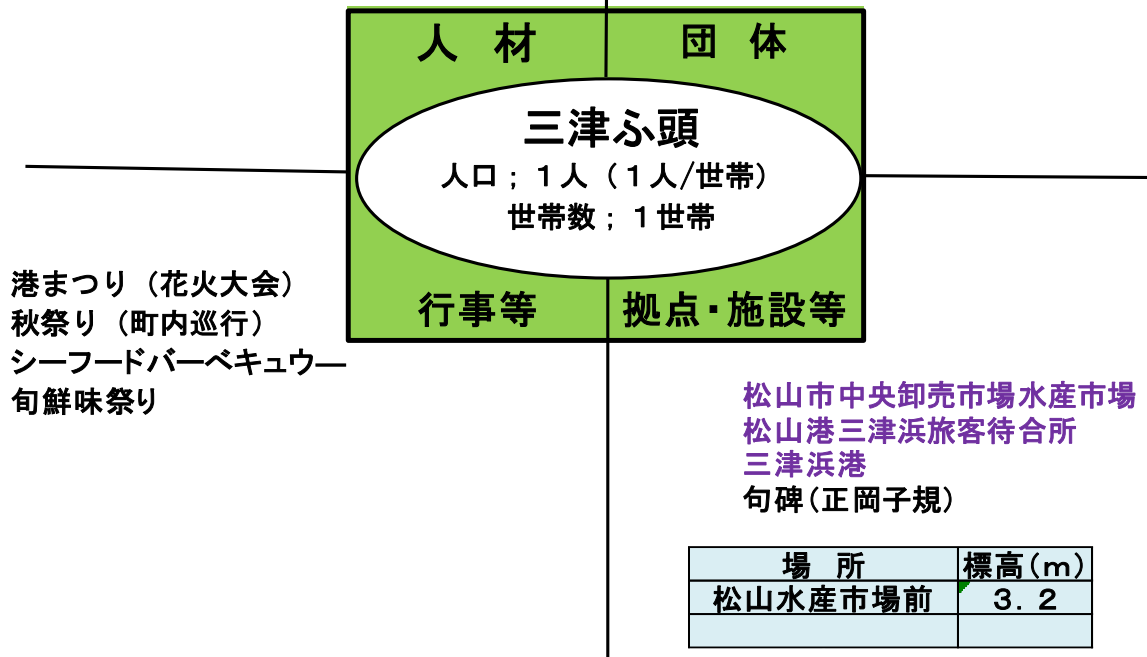
各種福祉・啓蒙活動
地域連携・振興活動
高齢者関連活動
子ども育成活動
各種健康増進行事
各種ボランティア啓蒙・活動
地域福祉サービス事業

青色パトロール
赤い羽根共同募金活動
歳末助け合い活動
特養老人ホーム訪問活動
港まつり(花火大会)
各神社・仏閣祭礼

市立三津浜図書館
三津浜支所
三津浜公民館
水上交番
松山西警察署
松山西消防署
三津浜中・小学校
特定郵便局(3箇所)
桟橋等港湾関連施設
三津浜港
三津の渡し
松山市中央卸売市場
水産市場
三津浜幼稚園
三津浜児童クラブ
保育園等施設2施設

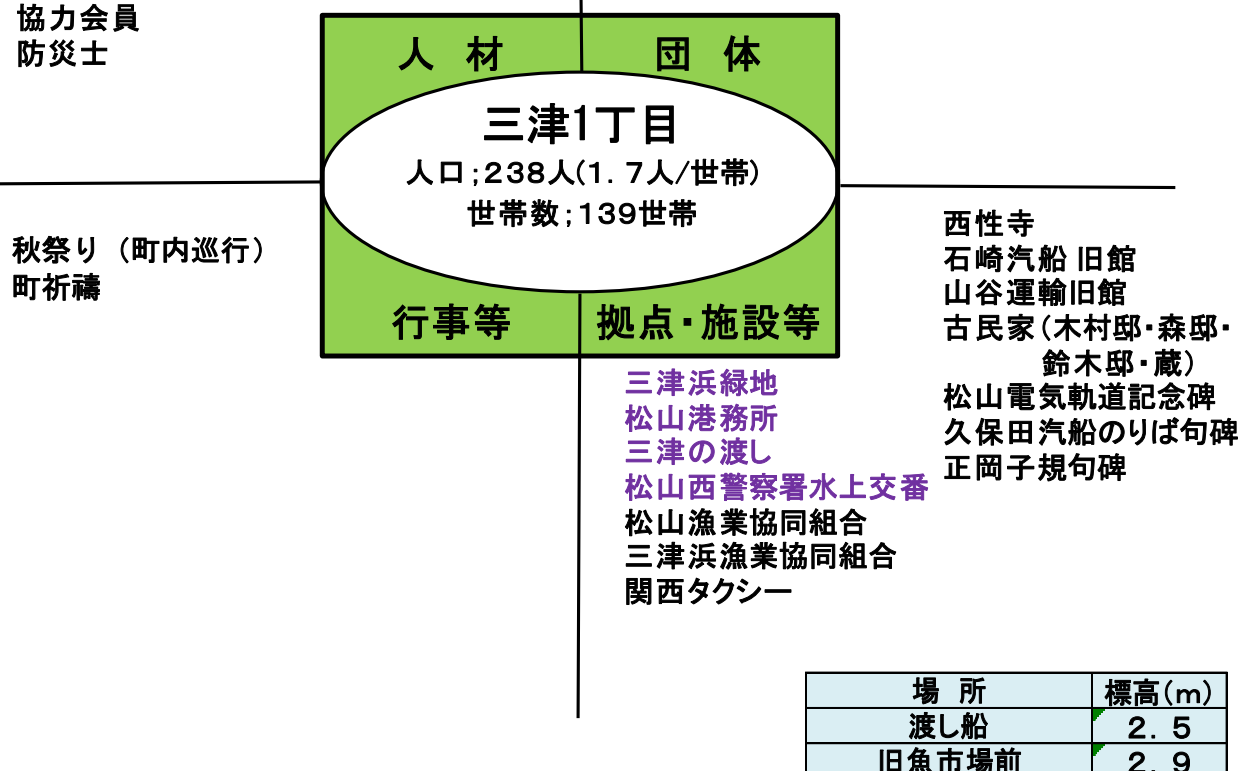
石崎・兼清記念館
個人病院(7医院(含む歯科医院))
高齢者施設(6施設)
接骨院(3院)
濱田病院址(ミツハマル)
量販店(2店舗)
愛媛銀行三津浜支店(1箇所)
寺院(7箇所)
神社(4箇所)
三津浜商店街
海運会社
タクシー会社
海鮮郷土料理店
ファーストフード店
コンビニエンスストア
ファミリーレストラン
ドラッグストア
古民家群、土蔵群
史跡、句碑、記念碑

防災士（水産市場内）



町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
三津松寿会会長
協力会員
防災士

旧町名町内会（須先、北三穂、北栄）
自主防災会





松山港第2埠頭岸壁(写真—⑦)
興居島や水産市場が見える。



松山市の海の台所、水産市場(写真—⑧)
定期的に”魚イベント”が行われている。



石崎汽船旧本社跡(写真—⑨)
昭和レトロな雰囲気が残る

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
三津浜地区少年警察ボランティア協会会長
松山西部地域開発協議会長
防災士、三津松寿会会長

旧町名町内会(南栄、北栄、南三穂、中三穂、
南藤井、東藤井、西藤井、桜町、新町)
地区自主防災
松山西部地域開発協議会
三津浜校区青少年育成支援委員会
三津松寿会
三津浜おやじの会

秋祭り(町内巡行)
町祈祷
十日えびす(恵美須神社)



恵美須神社
大原其戎 居宅址

三津浜緑地
松山三津郵便局
三津浜分団消防蔵置所
小富士保育園(避難場所)

場 所	標高(m)
小富士保育園グラウンド	2.9
福岡歯科・小児科	2.9

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
民生委員・児童委員
協力会員、防災士、三津浜公民館長
松山市三津浜支所長、三津浜児童クラブ会長
子ども会育成者連絡協議会長
松山市地域保健推進協議会三津地区長
保護司第9分区長
三津浜体育協会会長

旧町名町内会(南三穂、新町、桜町、柳町、
通2、通3、広町、心斎町、南桂町、北桂町)
自主防災会
三津浜児童クラブ
子ども会育成連絡協議会
保護司会第9分区
松山市地域保健推進協議会三津地区
三津浜体育協会

校区市民体育祭(公民館)
秋祭り(町内巡行)
校区文化祭(公民館)
教養講座(公民館)
福祉学習事業(児童クラブ)
地区敬老会(交流センター)
クリスマス会(公民館)
新年子ども餅つき大会(公民館)
児童球技大会、グランドゴルフ大会
ペタンク大会(公民館)、



愛隣こども園
山本歯科
市川歯科
正覚寺
量販店
コンビニ
愛媛県漁協連合会
濱田病院址(ミツハマル)

三津浜緑地
松山西消防署
松山市地域交流センター
(三津浜支所)
(児童クラブ)
三津浜公民館(避難所)

場 所	標高(m)
西消防署	3.3
三津支所グラウンド	3.8



松山市三津浜支所(写真—⑩)

公民館、児童クラブが併設されている。江戸時代町奉行所があった場所。



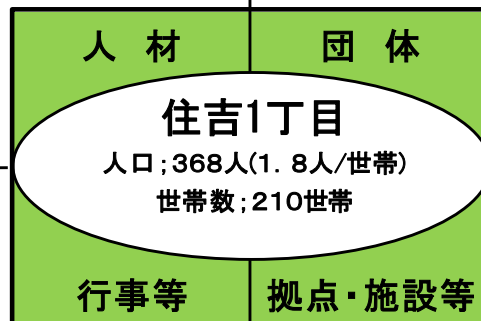
濱田病院跡(写真—⑪)

現在ミツハマルが管理・運営している。

町内会長
 まちづくり協議会代議員
 地区社会福祉協議会代議員
 公民館事業推進委員
 民生委員・児童委員
 民生児童委員協議会会長
 松山市食生活改善推進協議会三津浜支部長
 協力会員
 防災士

旧町名町内会(住吉1、松原町、苅屋町
 中久宝町、北久宝町)
 松山市食生活改善推進協議会三津浜支部
 自主防災会

場 所	標高(m)
商店街入口(東)	2. 2
瀬村製材前道路	2. 5
あさひ橋たもと	2. 6

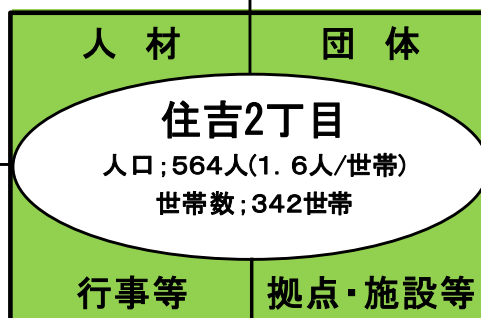


秋祭り(町内巡行)
 町祈祷
 住吉まつり
 堀川恵比寿

松山住吉郵便局
 ひのした接骨院
 住吉神社 私設図書館
 日本通運(株)四国重機建設支店
 三津浜商店街
 松山電気軌道停留所跡
 松原橋(松山電機軌道橋)

町内会長
 まちづくり協議会代議員
 社会福祉協議会会長・代議員
 公民館事業推進委員、民生委員・児童委員
 協力会員、防災士
 三津浜共同募金会会長
 松山港まつり振興会会長
 防犯協会三津浜支部会長

旧町名町内会
 (船場町、東藤井町、住吉1・2・3・4、新町、
 柳町、北桂町、中久宝町、北久宝町)
 地区社会福祉協議会、自主防災会
 三津浜共同募金会、松山港まつり振興会
 防犯協会三津浜支部、



場 所	標高(m)
風月堂前	2. 4
関谷邸宅前	2. 3
三津浜漁協前	2. 6
住吉公園	2. 3

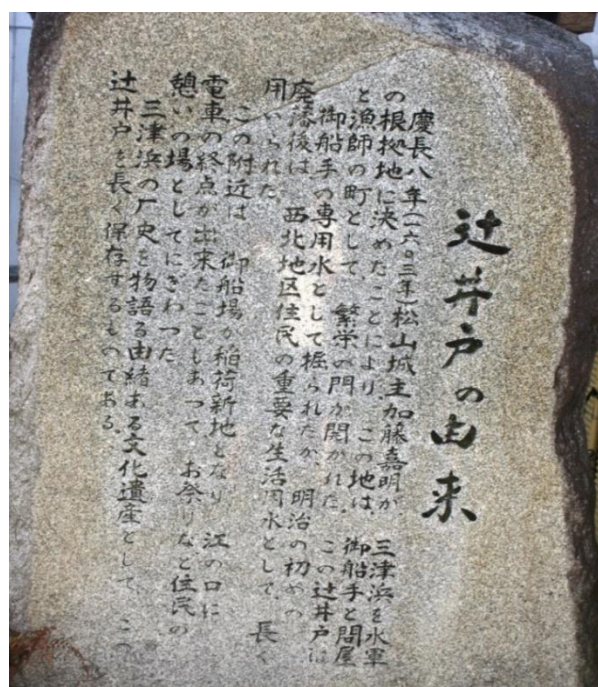
ふれあいいきいきサロン
 (しおさい苑・なごみの会)
 秋祭り(町内巡行)

市立三津浜図書館
 住吉公園(避難場所)
 三津浜地区社会福祉協議会事務所
 石崎・兼清記念館 願成寺 辻井戸
 愛媛銀行三津浜支店
 岡本医院、すみよし接骨院、
 デイサービス三津
 グループホームみつはま
 三津浜漁協
 日本小型船舶検査機構松山支部
 三津浜商店街
 就労移行支援事業所



三津浜商店街 (写真—⑫)

かつてアーケードがあり三津浜銀天街と呼ばれ、多くの人が行き交い賑わっていた。



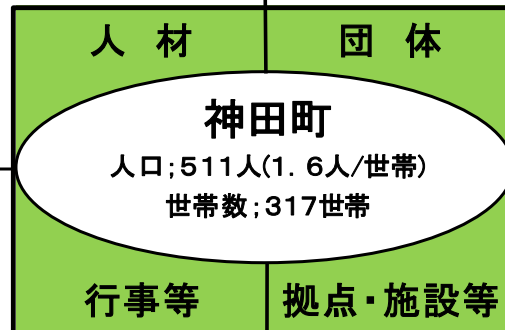
辻井戸 (写真—⑬)

現在も水が湧き出るのは不明である。

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
婦人会会長、母子会会長、防災士
松山市赤十字奉仕団三津浜分団長

旧町名町内会
(苅屋町、東久宝町、中久宝、南久宝町、
北宮前、通町1、北桂町、南桂町)
三津浜婦人会
三津浜地区母子会
自主防災会
松山市赤十字奉仕団三津浜分団
三津浜柔道会

秋祭り(町内巡行)
(宮入り・宮出し)
若宮まつり(7/27)
輪越し祭り(厳島神社)
十七夜(厳島神社)
石鎚山お山開き(不動明王堂)



市立三津浜幼稚園
高松接骨院
ワイズ三津浜
りほらぼ三津浜

善宗寺(若宮さん)
不動明王堂
正念寺
定秀寺
厳島神社
忠魂の碑(秋山好古)

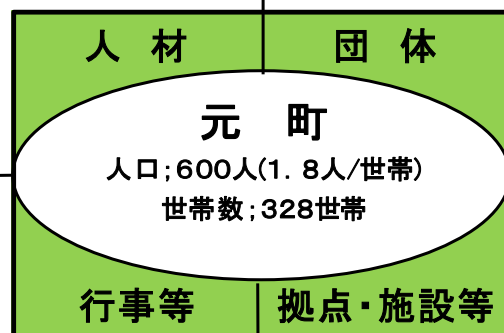
場 所	標高(m)
厳島神社前庭	2.4
三津浜幼稚園	2.9

(担当・・・畑中、栗田、川本)

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
高齢クラブ連合会会長
防災士

旧町名町内会(南宮前町、通町1、梅田町
1、梅田町2、北宮前、須賀町)
自主防災会
高齢クラブ連合会

秋祭り(町内巡行)
町祈祷
地藏まつり(8月法要・・・町内会)



福圓寺
力士の墓
台風高潮犠牲者の碑(7月法要・・・町内会)

場 所	標高(m)
お成り橋前	2.3



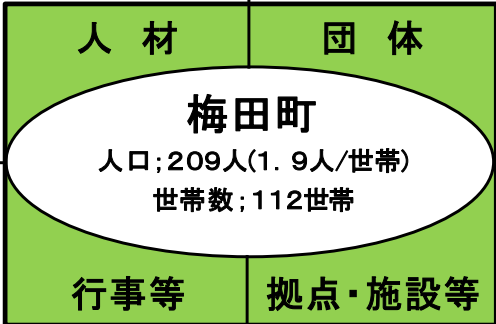
地域の鎮守様、厳島神社(写真—⑭)
秋祭りのけんか神輿が有名。



明治17年の台風の高潮による犠牲者招魂碑。(写真—⑮)

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
民生委員・児童委員
協力会員
防災士
三津浜小学校長
三津浜小学校PTA会長

旧町名町内会(梅田町2、梅田町3、通町2、通町3)
自主防災会
三津浜小学校PTA



秋祭り(町内巡行)
福祉学習事業(三津浜小学校)
三津浜小学校各種行事
(式典、運動会、音楽会、マラソン大会等)

三津浜小学校(避難場所)
松山梅田町郵便局
ジェントルハートみつ(福祉避難所)
お茶屋井戸(三津浜小学校)
県漁業協同組合連合会

場 所	標高(m)
三津浜小グラウンド	2.9
ジェントルハート三津	3.5

町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員公民館事業
推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
防災士

旧町名町内会(須賀町、松江町)
自主防災会



秋祭り(町内巡行)
朝の清掃(西須賀公園)
町祈禱

西須賀公園
松山西警察署
愛媛県女子師範学校の句碑
日本通運(株)松山空港支店
レストラン
子供用品店
コンビニ

場 所	標高(m)
西警察署駐車場	3.7
須賀公園	2.7
中尾建材	2.3



三津浜小学校(写真—⑬)

江戸時代船奉行所があった場所。昨今、児童数が減少している。

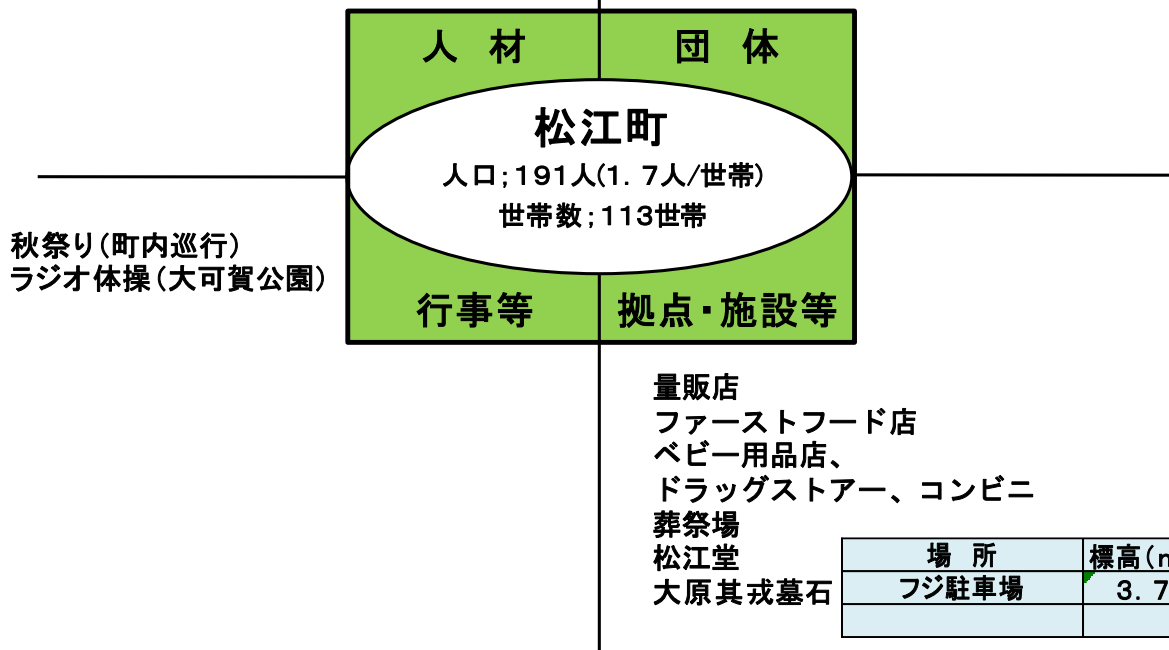


女子師範学校跡(写真—⑭)

付属幼稚園、小学校があり、三津の子弟が多く通っていた。
その後、警察予備隊(現自衛隊)駐屯地、西警察署となった。

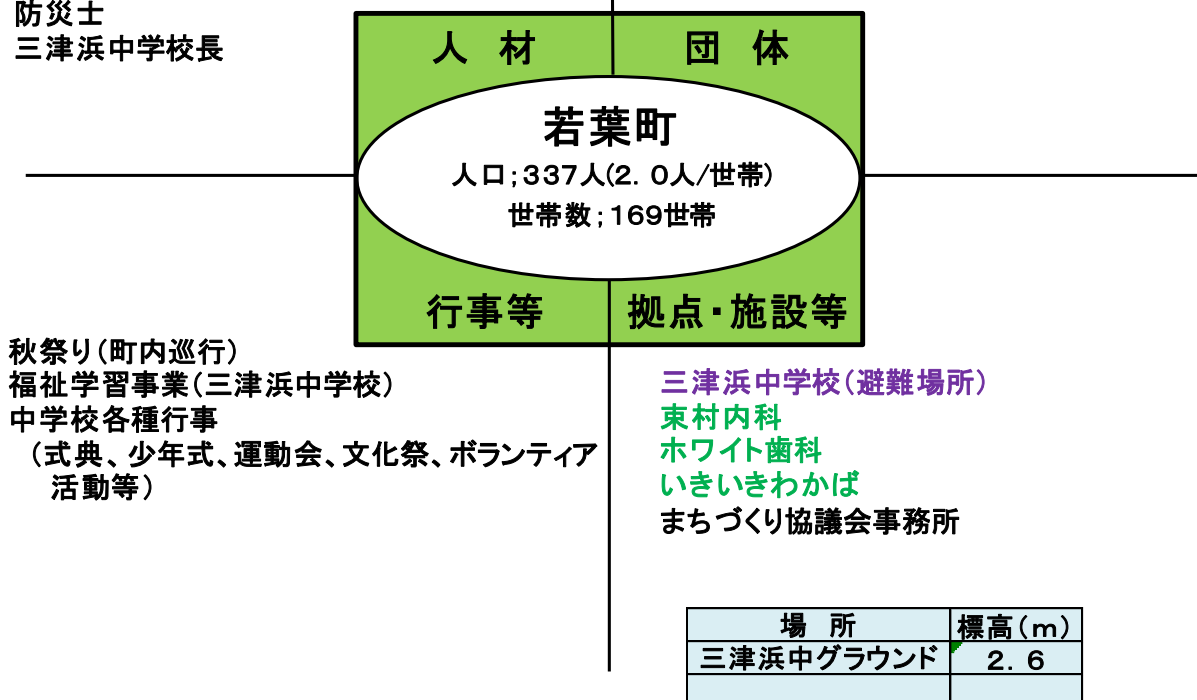
町内会長
まちづくり協議会代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
防災士
教育会三津浜支部長

旧町名町内会(松江町)
自主防災会
教育会三津浜支部



町内会長
まちづくり協議会会長・代議員
地区社会福祉協議会代議員
公民館事業推進委員
民生委員・児童委員
協力会員
防災士
三津浜中学校長

旧町名町内会(若葉町)
自主防災会
三津浜中学校PTA
まちづくり協議会





松江堂(写真—⑱)

大可賀公園北西の位置にある。

まちづくり協議会が松江さんの墓石を風雨から守り又、住民の語合いの場所として建設した。



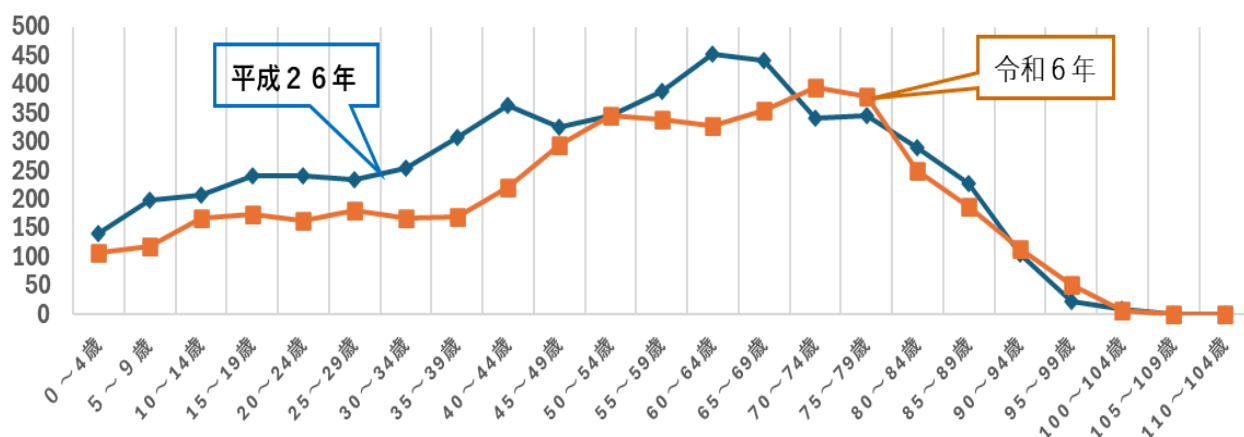
三津浜中学校(写真—⑲)

三津浜、宮前、みどり小学校区の生徒が通う。

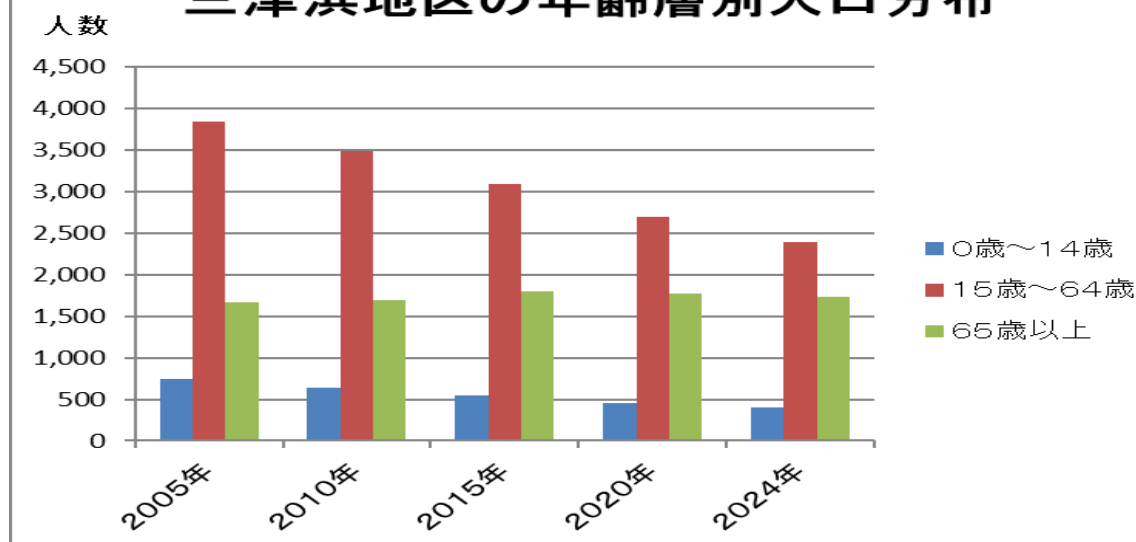
8、三津浜地区の人口分布等の特徴を統計からみると

(1)

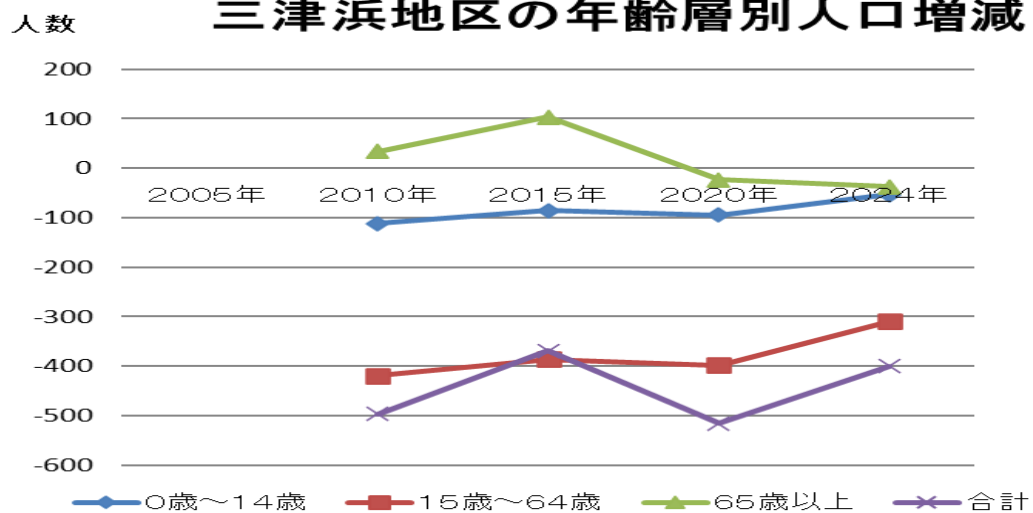
三津浜地区の過去10年の年齢別人口の推移



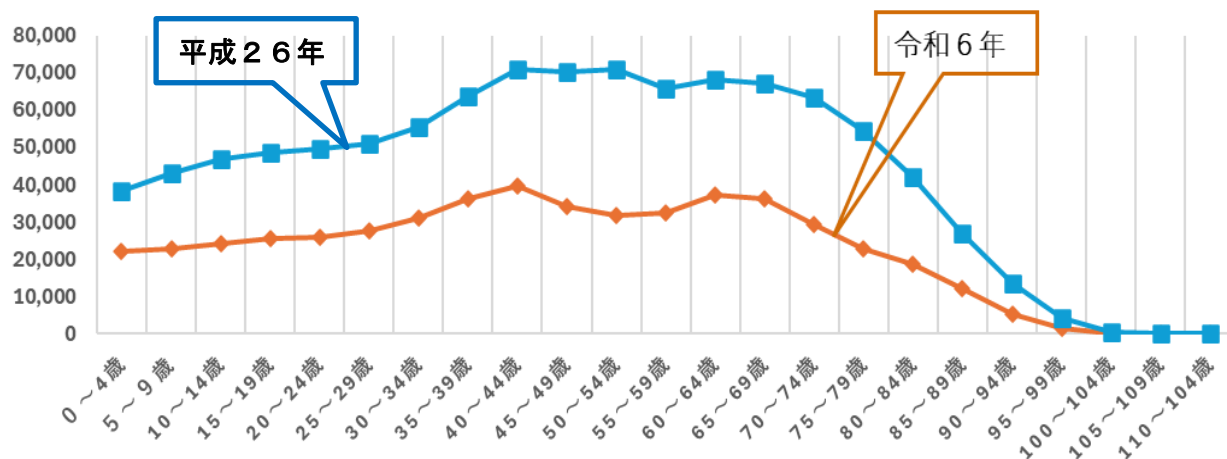
三津浜地区の年齢層別人口分布



三津浜地区の年齢層別人口増減



松山市の過去10年の年齢別人口の推移

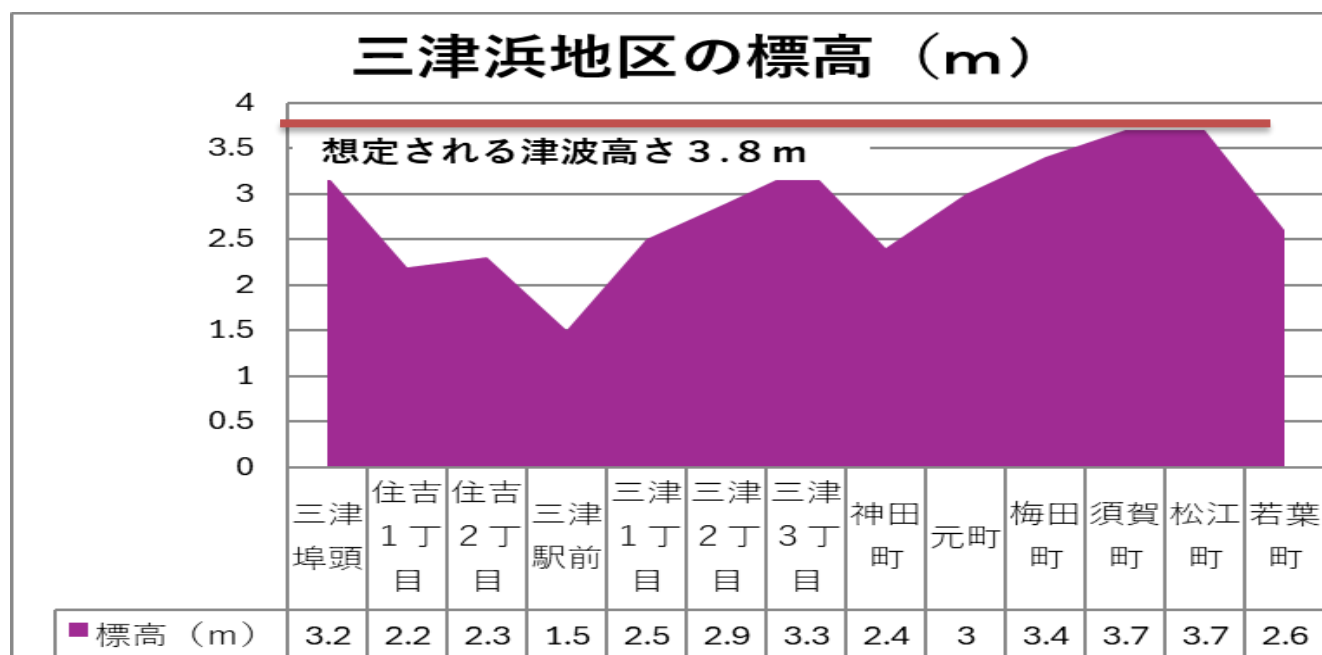


- 1) 弱年齢層の分布が右方向にスライドしており、高齢化が進んでいることが分かる。
- 2) 人口が年100人ペースで減少しており、松山市全体に比べ著しく過疎化が進んでいることが分かる。

過去10年の人口の推移			
	平成26年	令和6年	減少率
松山市	517,509人	497,489人	96.1%
三津浜	5,476人	4,506人	82.3%

過去10年の高齢化率の推移			
	平成26年	令和6年	伸び率
松山市	24%	29%	1.2
三津浜	33%	39%	1.2

(2) 三津浜地区の標高



《三津浜地区の標高》

三津浜地区の標高は1.5m～3.7mと低位にある。なかでも三津駅周辺が一番低く1.5m。

津波や台風による水害が発生した場合、地区全域が水没する危険性は極めて高い。

予測される水害被害を未然防止するための手段、あるいは避難するための手段等命を守るための手順について早期に確立する必要がある。

(参考)

場 所	標高(m)
伊予鉄明治踏切	1.4
伊予鉄三津駅前	1.8
伊予鉄三津踏切	1.5
宮前小学校前	1.5

近隣で最も標高の低い箇所

9. 写真撮影 位置図



第4期 三津浜地区地域福祉活動計画
発行;三津浜地区社会福祉協議会
(三津浜地区地域活動計画策定委員会)

〈問合せ先〉

松山市社会福祉協議会 地域支援課
〒790-0808

松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

Tel;089-941-3828/Fax;089-941-4408

URL;<http://www.matsuyama-wel.jp>

E-mail;chiiki@matsuyama-wel.jp